

# 東京病院ニュース

第18号 2007年4月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>



## 64列CTによる外来での冠動脈造影検査

上の写真に有ります様に、東京病院に導入した新しいCT機械と病院内部の内覧会を3月3日に開催し、多くの関係者が集まりました。

CT検査とは体をレントゲンで輪切り(断層)にして観察する機械です。本年1月から東京病院が導入した機械は、世界最先端の64列CTです。今までの機械の断層は1列でありましたので撮影スピードが64倍速くなった感じです。この機械の使い方に関して高崎市の高瀬クリニックの近藤 武先生の説明がありました。

今まで心臓の血管(冠動脈)の写真をとるには、皮膚に針を刺して血管の中に細いカテーテルを入れ、そのカテーテルを冠動脈の入り口まで入れて造影することが必要でした。従って患者さんにとっては入院が必要ですし、僅かですが危険もありました。しかし今回の機械により、たった12秒間息を確実に止めてそしてお腹も動かさない様にしておれば、入院しなくても外来での造影剤の点滴だけでほぼ似た様な写真が撮れることになりました。

冠動脈危険因子(リスクファクター)つまり、高血圧・高脂血症(高コレステロール血症)・糖尿病、親族で心筋梗塞を起こした人の因子があるかたは、人間ドックの代わりに一度行ってみるのも良いでしょう。自分の血管の絵を見ることにより、今まで不摂生な生活を直さなかつた方でも、とたんに心を入れ替えて真面目に薬を飲み良い生活を送る様になります。ご希望の患

者さんは主治医の先生とよく相談してみてください。しかし単に採血や胸部写真をとるのは違います。まずカテーテルによる血管造影と同じく腎臓が悪い人は出来ません。胸部写真と比べてはもちろん、入院の血管カテーテル検査と比べても放射線の被曝量は少し多いですので、年に2回以上行うのは如何でしょうか。

診療所の先生にあっては、当院ではこの様高額な医療機器に関しては院外の医療機関が共同利用を計れるように、当院地域医療連携室に電話を頂ければ、簡単に予約が取れる様になっておりますのでご利用ください。なお造影剤を使いますので、同意書の取得が必須です。

統括診療部長 茅野真男

### お知らせ

- 平成19年2月3日、東京都医師会主催 第4回結核研修セミナー「Stop!! 東京の結核」で当院呼吸器科が講師陣を務めました。
- 平成19年5月1日より総合内科外来を始めます。受診科に迷う場合などにご利用下さい。
- がん医療支援センターを開設しました。詳細は順次お知らせしていきたいと思っております。

# 3 東病棟紹介



宜しく  
お願いします



3 東病棟のスタッフです。  
医師も含めてみんな若い  
スタッフですが、  
患者様の気持ちに立って  
頑張っています。



2万円の特別個室です。広い応接  
セット・バス・トイレ完備です。



ここは  
食堂です。

3 東病棟は、呼吸器外科を中心とした一般病棟です。

呼吸器外科は患者様の年齢が、10代の方から80代の方まで幅広く、年間約250件の手術が行われ、その後の看護を行っています。呼吸器外科の患者様だけでなく呼吸器内科、眼科、神経内科の複数科の患者様を若いスタッフと医師が協力し、早期退院に向けて時には優しく、時には厳しく、患者様を支えています。



声だし、指さし！  
を行って患者様の  
安全確認



ミーティング中



耳かきは  
気持ちいいネー

歩行訓練中



ボク退院  
します！



内科の患者様は、化学療法、放射線療法の治療や、手術前の検査入院なども行っています。

眼科の手術は、2泊3日の入院で術後の状態を確認して退院ができます。ひとり暮らしの方など、手術後日帰りの手術では、食事の支度など不安がある方は、安心して退院ができますよ。

神経内科の急性期の状態の患者様、難病と闘う患者様も同時に看護に携わっています。

写真のように若いスタッフが、皆様の早期治療、早期退院に向けて、医療チーム一同でお手伝いさせていただきます。

3 東病棟師長 吉田ひろみ

## 新任のご挨拶



仙台で桜の開花宣言をしようと事務所の前にある桜の木と毎日眺めっこしながら、徐々に蕾みが赤く大きくなっていく様子を見ていましたところ、転勤直前に花びらが三輪だけ開花したところで東京に戻ってきました。そんな温度差のある北海道東北ブロック事務所（仙台市）からやって来ました。

業務内容として、北海道東北ブロック管内施設（22病院）に対し業務等の支援行っていましたが、今後は東京病院の一職員として病院がよりよい方向に向かうために出来るところから地道に始めたいと考えております。どうかよろしくお願い致します。

東京病院の思い出として、今は無いと思いますが、若いころに野球グラウンドを借りて良く野球をやった記憶が蘇ります。

事務部長 勝又正夫



新設された病棟診療部長として、統括診療部長の下に、13の病棟医長及び病棟師長と協力して病棟運営にかかわる諸問題に携わります。平成15年（2003年）の建物としての新病院完成に続いて、ソフト面でも病院としてのシステムが出来たと思います。

私は、昭和50年（1975年）6月から旧国立療養所東京病院の呼吸器科医として働き、呼吸管理、呼吸器疾患の呼吸リハビリテーションの分野を得意としています。この分野においても、在宅酸素療法や非侵襲的人工呼吸に関わる種々の技術の発達と、健康保険などの社会的経済的バックアップにより、患者様が生き生きと長生きされる様子を実感することが出来ました。

今後、病棟における医療の質と安全の確保、患者サービスの向上、円滑な病床管理などの主要なテーマについて、チーム医療として取り組んで生きたいと思っています。

趣味はミステリー読書、好きな言葉は“来るものは拒まず、去るものは追わず”、長崎県出身。

病棟診療部長 町田和子



この度、前任者の茅野先生から引き継いで外来診療部長を仰せつかりました消化器科の矢倉道泰です。東京病院に赴任して21年になります。これまで大林先生、原田先生が23年前に創設され築いてこられた消化器科で肝疾患を中心に診療してきました。

現在、当科は主に消化管（特に大腸）を専門とする田中医師と隣、胆道疾患を専門とする井利医師が加わり主に肝疾患専門の上司医長とともに消化器疾患全般をカバーできるようになりました。

さて、私に課せられた当面の任務は5月から総合内科を立ち上げることです。当院は規模の大きい病院とはいえ全科が揃っているわけではなく、そのため外来受診される患者さまの中には現在ある呼吸器内科外科、消化器内科外科、循環器科、神経内科、リハ科、整形外科、眼科、放射線科、緩和ケアなどの診療科目にも当てはまらない症状や複数の科にまたがる症状を訴えて来られる方がいて案内係もどの科に振り分ければよいか迷ったり、時にはお断りすることもありました。そういう患者さまや現在ある科の疾患でも軽症であり投薬だけで短期間で外来で治せると判断したときは総合内科で診療したいと考えています。私も従来から個人的には自分の専門分野を中心として患者さまをできるだけ幅広く診るよう心がけてきましたのでやりがいのある仕事だと思っています。また昨年から行っています清瀬市民検診や一般健康診断も今後、総合内科が受け持っていきたいと考えています。今後とも外来診療がスムーズに行えるように微力ながら尽くしていく所存ですのでよろしくご支援ください。

外来診療部長 矢倉道泰



今度新たに東京病院に昇任で参りました副看護部長の渡辺千香子と申します。

国立病院（国立病院機構）に勤務してから、この病院は4施設目になります。いつもそうですが、転勤始めはほとんど知らない人ばかりの中緊張の連続で、家に帰ってようやくホッとするという毎日がしばらく続きます。しかし知り合いが増え慣れてくると出勤するのも苦にならなくなります。

禅の言葉で「我逢人（がほうじん）」という言葉がありますが、これは人と人との出会いの尊さを三文字で表した言葉です。人と逢うことからすべてが始まり、人との出会いは何かを生み、自分を広く深く成長させてくれるという意味だそうです。

転勤や異動は慣れ親しんだ人との別れでもありますが、新たな人との出逢いでもあります。この病院でも地域の方々や院内のいろいろな人との出会いやその場を大切に、日々邁進して行こうと思います。どうぞ宜しくお願いします。

副看護部長 渡辺千香子



## 新任のご挨拶



4月より東京病院で診療させて頂くことになりました。折しもサクラの季節、人生など目かの新入生気分でちょっとワクワクしています。国立療養所中野病院、国立国際医療センターにひきつづき、呼吸器疾患とくに結核の治療にあたります。近年の医学の進歩や医療体制の変革で医療現場が変化するなか、患者さんもスタッフも含めてひとを幸せにする医療をやりたいと思います。自分的には、国立国際医療センターでは一般総合病院で「結核医療」をいかに安全で効果的にグローバルスタンダードで行うかがテーマでした。東京病院は、その歴史的バックグラウンドに健康的な環境と卓越したマンパワーが調和している施設です。私もこころあたらにその一員として、地域医療に貢献し臨床研究でも前進したい所存です。なにか皆様のお役にたてれば嬉しいです。どうぞよろしくお願ひ致します。

呼吸器科医長 豊田恵美子



平成19年1月から循環器科に赴任いたしました。昨年まで、中野区の慈生会病院で冠動脈撮影や冠動脈・下肢動脈のカテーテル治療(PCI)、心臓リハビリテーションに取り組んでまいりました。当院では1月に64列マルチスライスCTを導入しましたが、この装置で冠動脈の詰まりを簡単に検査出来るようになりました。本年9月以降には、シネアンギオ装置が更新されることになっており、冠動脈撮影やカテーテル治療に取り組んでいきたいと思ひます。循環器科領域では、高血圧・高脂血症といった生活習慣病の治療と共に、急性心筋梗塞・不整脈・肺塞栓症といった救急処置を要する患者さまに対応することが必要になってきます。今後は、当科が北多摩地域の医療機関に頼られる病院になるよう尽くしたいと思ひます。出身は岡山県で、金沢大学卒業です。京都大学老年科大学院修了後、倉敷中央病院でカテーテル検査・治療を学びました。どうぞ宜しくお願ひします。

6西病棟医長(循環器科) 松永洋一



東京病院眼科での勤務は、4月をもちましてお蔭様で4年目を迎えることができました。眼科は医師2名で、新規に開設してからそれほど時間が経っていないということもあり、私のような若輩者が診療科の責任者をさせて頂いております小さな科ですが、これまで順調に診療を続けてこられましたのも東京病院にご勤務されている皆様および多くの患者さまに支えて頂いたからこそと、改めて感謝の気持ちで一杯です。また眼科スタッフの皆様には毎日色々と至らない部分を助けて頂き、本当に感謝しております。清瀬は病院、診療所が多い割に眼科が比較的少ない地域であり、その分東京病院眼科が担う役割も小さくはないかと思ひます。地域の患者さま、医療機関に少しでも貢献できるよう、今一層頑張りたいと思ひます。また、眼科に関わって頂くスタッフの皆様が少しでも働きやすくなるよう、これからも努力して参りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

眼科医長 山田 秀之



4月から5階西病棟医長をさせて頂くことになりました。5階西病棟は慢性呼吸不全を中心とした一般呼吸器科の病棟です。前任者の町田先生も引き続き同じ病棟と一緒に仕事をさせていただきますので、これまでと比べて大きな変化はないと思ひます。4月には他病院からの新しい先生方も来て、呼吸器科医師の数が増えますので、そのまとめ役としても頑張っていきたいと思ひますし、患者様や、地域の病院・診療所からも信頼される病棟であり続けられるように頑張りたいと思ひます。さらに、看護師や、病院のスタッフが働きやすく、成長していけるような病棟作りを、看護師長ともども進めていきたいと思ひしております。よろしくお願ひします。

5西病棟医長(呼吸器科) 松井弘稔



初めまして!  
看護師のヒヨコ達53名です!!

私たち、新人看護師は今年度53名採用されました。3月に各々の看護学校を卒業し、国家試験の合格通知を戴き、看護師の卵からヒヨコへと成長しました。看護師としてはまだまだ技術も知識も未熟であり、これから始まる看護師としての人生に不安も多くあります。ですが、看護部長さんをはじめ病棟部長さんや先輩看護師の皆様からの暖かい歓迎を受け、精一杯頑張ろうという気持ちでいっぱいです。

時には辛いこともあると思ひますが、常に患者様の立場に立った思いやりのある看護を提供できるよう新人全員で力を合わせて精進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

3階西病棟 看護師 長嶺未央



## リハビリテーション科診療案内

リハビリテーション科では、脳卒中亜急性期からの専門的リハビリテーションを行っています。リハビリテーション専門医・看護師・栄養士・理学療法士PT・作業療法士OT・言語聴覚士ST・ソーシャルワーカー等によるチーム医療を特色とし、介護保険サービスとも早期から連携して在宅生活へのきめ細かい支援を行っています。片麻痺・失調・構音嚥下障害などの他、失語・失認などの高次脳機能障害までを対象としています。



### <医師>

4名のリハビリテーション科医師が、主治医としてリハビリテーション処方並びに医学的管理を行います。入院されたその日から、個々の患者様について機能回復の見通しを立て、治療や訓練により達成可能となる目標を定めてリハビリテーションを開始します。関連職種との定期的なカンファレンスで、リハビリテーションの効果・問題点を把握しながら目標の修正を行い、基礎疾患や合併症の治療下に自宅退院までの安全且つ効果的なリハビリテーションを目指しています。また、退院後必要となる介護保険サービスについても、医学的見地からのアドバイスをしています。

### <リハビリテーション科の概要と診療方針>

リハビリテーション専門病棟は、50床のうち40床を亜急性期病床として運営しており、原則発症後90日以内の患者様を受け入れて回復期の集中リハビリテーションを行い、90日以内の入院期間で在宅復帰できるよう援助することを目標としています。

年間の入院患者数は約250名で、疾患の内訳は脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）が約9割、頭部外傷、その他が各1割です。

入院時より、専任医師による障害診断及び機能予後予測に基づく目標設定と訓練処方がなされ、多職種チームによるリハビリテーションが開始されます。定期的なカンファレンスにおいて再評価と目標の修正を行いながら、患者様お1人毎の最高レベルを目指します。

救急病院では時間をかけて対応することが難しい複雑な機能障害、例えば重度の麻痺や両側障害、嚥下障害や失語、失行、失認などに対しても、医師、看護師と理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等を含む専門職種がチームを組み、詳細な評価と目標設定の基に最良、最高のリハビリテーション・プログラムが提供されるよう、できる限りの対応を心がけています。

また、担当のソーシャルワーカーが入院時から退院準備、社会復帰のための援助を行います。必要に応じて、家屋改造やケ

アプラン作成への協力など、介護保険サービスとも緊密に連携を取り合います。平均在院日数は約70日で、自宅への退院率は約7割、老人保健施設を経て帰られる方を含めれば8割以上となります。

同時に、再発予防のための薬物療法、食事療法にも力を入れています。入院中は、薬剤師による服薬指導や、栄養士による栄養指導が個別になされます。また、退院後1～3ヶ月程度の間は、心身の機能を維持し、在宅生活や地域のリハビリテーションへの移行が円滑になされるよう、外来リハビリテーションも必要に応じて行います。

その他、院内リハビリテーション・センターとしての機能も有しており、院内他科（神経内科、呼吸器科、外科、消化器科など）へ入院された方に対しても往診、訓練などを行うと共に、緩和ケア病棟においては、悪性腫瘍、エイズのリハビリテーションにも関わっています。



### <リハビリテーション科外来受診の手続き>

当科でのリハビリテーションを入院して受けたいと希望される方に対し、平日（月・火・水・金曜日）の8:30～11:00に、リハビリテーション科外来にて入院相談を行っております。

入院中の病院の主治医からの紹介状（診療情報提供書）と写真（MRI、CTなど）・ADL票（当院書式）をお持ちください。病状等からご本人が受診できない場合は、ご本人の様子がわかるご家族が来院していただければ結構です。原則として、ご紹介元からあらかじめ資料を医療福祉相談室宛（Fax 042-491-4099）にFaxして頂き、医療連携室経由で受診日のご案内を差し上げるシステムとなっております。

初診の際、現在の心身の状況や社会的背景（介護環境やお仕事など）についての予診票をお渡しますので、わかる範囲で記載をお願い致します。尚、より詳しい情報を得るために、ソーシャルワーカーを通じて各医療施設にお問い合わせをさせていただくこともありますのでご了承下さい。

亜急性期病床という当科の性格上、入院予約させていただくのは、原則として発症後早期から集中的なりハビリテーションを行い、90日以内で自宅（老人保健施設を含む）への退院を目標とできる方となります。入院可否の判断は、外来受診後にリハビリテーション科医師が行います。制約もありますが、入院の適応のある患者様についてはできるだけ受け入れるよう努力しています。ただし、発症後長期間（3ヶ月以上）経過された方や、長期療養を目的とされる場合等、入院のご希望に添えない場合もあります。何卒ご了承ください。

リハビリテーション科 医長 新藤直子

専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください	
肝臓	月～金	体がだるい、黄疸や食欲の低下、健診で肝障害のある方、平成4年以前に輸血を受けた方。	
呼吸器関係外来	喘息	火(午後)	「喘鳴」「発作性の咳」が主な症状です。特に夜間から明け方の咳き込みは要注意です。
	喘息・アレルギー(予約制)	金(午前)	気管支喘息(難治性)、花粉症などのアレルギー疾患で悩んでいる方。「慢性的咳」の中には、アレルギーに関連しているものもあります。
	禁煙(予約制)	水(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[30分:5,250円]
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非定型抗酸菌症	月(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	気胸	火	突然の胸痛、息苦しさを感じます。
	いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
アスベスト(予約制)	水(午前)	アスベスト(石綿)を扱うお仕事をされた方。アスベスト吸入による肺の病気について御心配な方(予約制です)	
手掌多汗症	金	今増加している疾病です。手のひら、腋、顔面の発汗が多い症状です。(汗で手が滑る、握手もできないこともあります。)	
ものわれ外来	水(午後)	最近ものわれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。(あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診。)	
糖尿病	木(午後)	のどがかわきやすい、体重が減ってきた。(無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。)	
緩和ケア	木・金(午前)	末期の悪性腫瘍やエイズによる痛みやいろいろな症状でつらい思いをされている方。	

受付時間 8:30~11:00 診療時間 8:30~17:15  
 午後の専門外来は、12:30より受付  
 休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

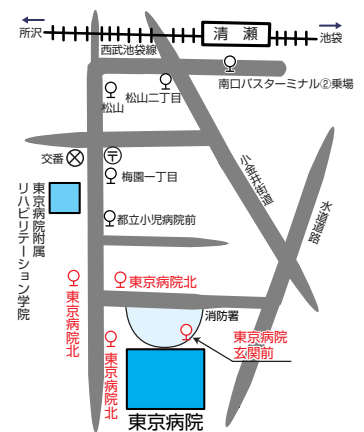
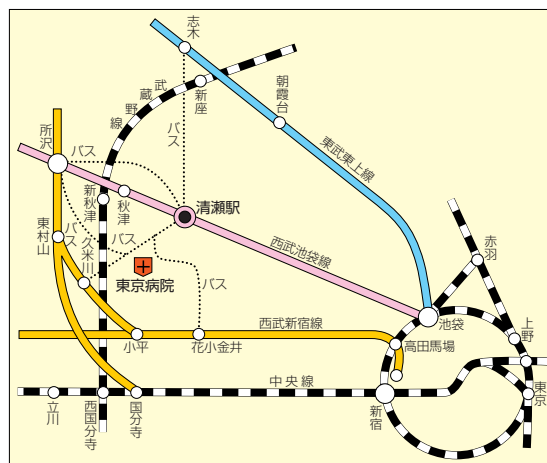
代表電話番号 042-491-2111  
 内線番号がおわかりの方は042-491-4134  
 (ダイレクト・イン・ダイヤル)をご利用下さい

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125(8:30~15:30)  
 CT・MRI検査の申し込み : 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934(8:30~17:15)

診療内容 病床数560床

- 呼吸器科
- 消化器科
- 循環器科
- リハビリテーション科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 神経内科
- 内科
- 外科
- 眼科
- 放射線科
- 麻酔科
- 整形外科
- 緩和ケア科
- ICU(集中治療室)



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅南口バス3番乗り場より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車で越越しの際は正面よりお入り下さい。(駐車場265台)
  - 30分以内 無料
  - 31分~2時間 100円
  - 以後1時間毎 100円
  - (20時15分~7時 1時間毎300円)